

# スマイルシティ都城

# 実行予算

平成30年度当初予算が成立しました。今回は、予算の概要と新年度新たに取り組む事業などを紹介します。

◎問い合わせ 財政課 ☎23-2113



## 平成30年度当初予算の基本的な考え方

市では「南九州の拠点都市」「リーディングシティ」の確立と「笑顔あふれるまち」「スマイルシティ都城」の実現を目指した予算を編成。本市が持つ「3つの宝」をより一層輝かせるための事業や子ども子育て支援などの重要施策、市民サービスの更なる向上、「肉と焼酎のふるさと・都城」を対外的にPRする事業に重点的に予算を配分しました。

## 平成30年度当初予算の概要

平成30年度の一般会計当初予算は、786億3千万円で前年度に比べ18億3千万円の減額。また、全ての会計の予算総額は1,319億9,532万円で、47億9,573万円の減額となっています。なお、平成30年度末の市債残高見込み額は、合併直後の平成17年度末に比べて246億円減少し、1,075億円となっています。市の負担割合の低い地方債を活用することで実質的な返済額を低減するなど、着実に財政健全化を進めています。

## 平成30年度当初予算の姿 ～スマイルシティ都城・実行予算～

### ◎マニフェストを踏まえた予算配分

- 一般会計：786.3億円（前年度比▲2.3%）  
※整備完了の中心市街地中核施設整備支援事業（25.9億円）  
北消防署移転建設事業（6.7億円）を除くと実質1.9%増
- 特別会計：429.4億円（同▲6.8%）
- 企業会計：104.3億円（同1.4%増）
- 全会計：1,320.0億円（同▲3.5%）

### ◎財政健全化は引き続き堅持

- 市債残高の純減（既発行債の繰上償還など）  
平成17年度末：1,321億円  
平成30年度末：1,075億円（▲246億円）
- 本市負担の低い市債（臨財債+合特債）へのシフト  
平成17年度末：8%  
平成30年度末：53%  
（臨財債+合特債）／市債残高

↓  
**本市の実質的な返済額の低減！**

## 平成30年度予算編成の 基本的な考え方

### ◎「3つの宝」をより一層輝かす！

- ①「農林畜産業」の振興
- ②「地の利」の拡大
- ③「人間力あふれる子どもたち」の育成

### ◎重要施策の推進！

### ◎市民サービスの更なる向上！

### ◎「肉と焼酎のふるさと・都城」の対外的PRの更なる推進！



“南九州の拠点都市＝  
リーディングシティ”の確立！

“笑顔あふれるまち＝  
スマイルシティ都城”の実現！

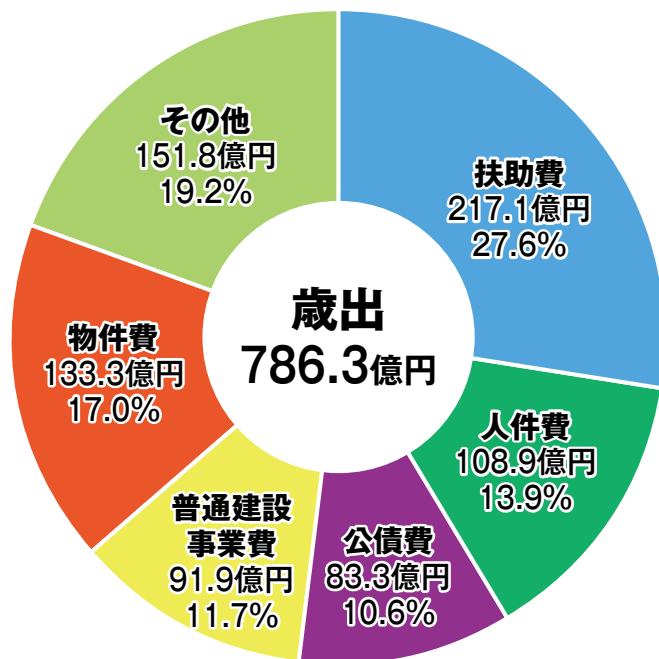
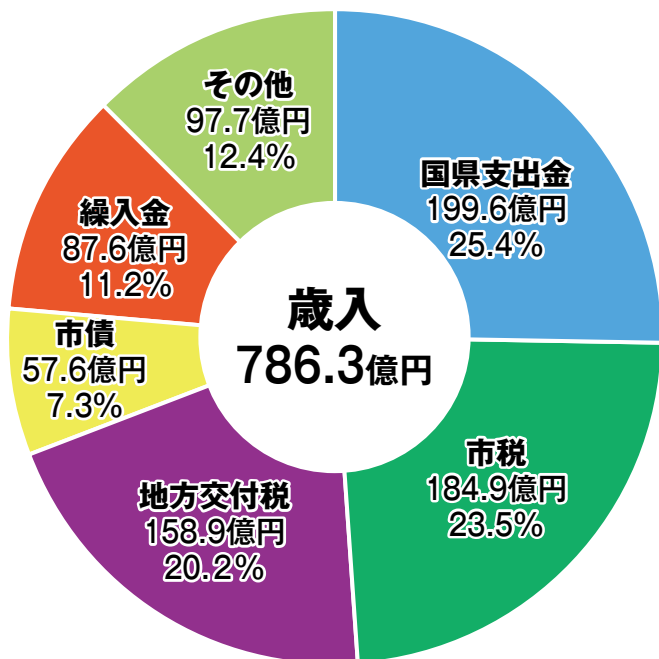


# 平成30年度 一般会計当初予算

## 歳入歳出総額

# 786億3,000万円

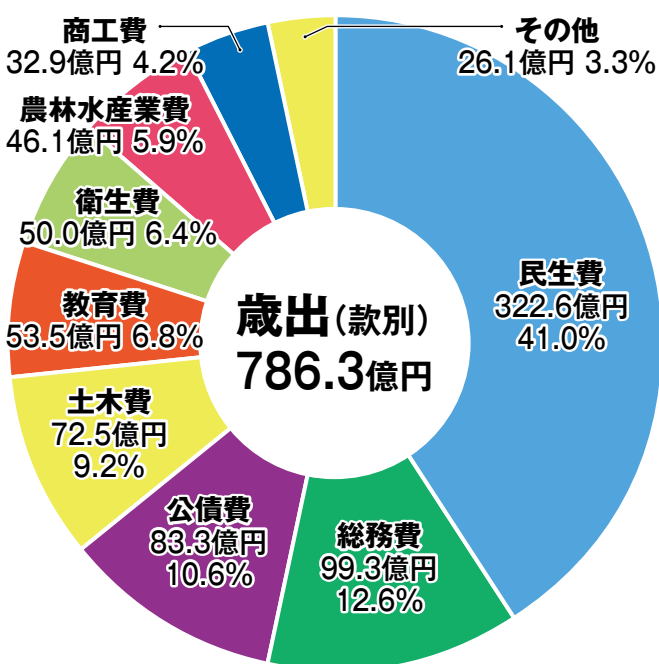
(対前年度比2.3%減)



●市債…建設事業や災害復旧事業などの財源となる借入金

●扶助費…生活保護や児童・高齢者福祉事業などに要する経費

## 目的別に見た歳出の状況(一般会計)



**民生費**  
福祉全般  
障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、生活保護などの経費

**総務費**  
全般的な管理  
庁舎などの管理や課税、戸籍、選挙などの経費

**公債費**  
市債の返済  
市が発行した市債(借金)返済のための経費

**土木費**  
社会基盤の整備  
道路や公園などの建設や維持管理に要する経費

**教育費**  
教育の充実  
教育や文化財保護、スポーツ振興などの経費

**衛生費**  
生活環境の維持・改善  
保健衛生やごみ収集、公害対策などの経費

●農林水産業費…農林業の振興や生産基盤整備などの経費

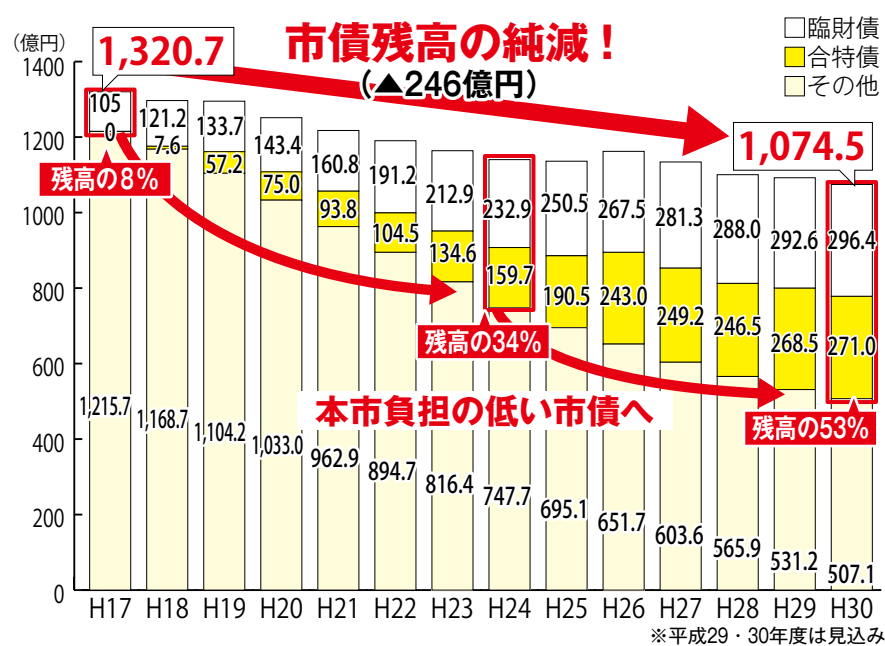
●商工費…観光や企業誘致など、商業や工業の振興に要する経費

# 都城市の家計簿

## 市の財政を月額20万円の家計に例えると

収入			支出			
項目	金額	割合	項目	金額	割合	
給与	うち基本給（市税など）	71,859円	35.9%	食費（人件費）	27,708円	13.9%
	うち諸手当（国県支出金、地方交付税など）	91,194円	45.6%	医療費、保育料（扶助費）	55,232円	27.6%
預貯金の取り崩し（繰入金）	22,293円	11.2%	光熱水費、日用雑貨など（物件費）	33,914円	17.0%	
ローン借入れ（市債）	14,654円	7.3%	家の修理、車の購入など（投資的経費、維持補修費）	25,192円	12.6%	
			子どもへの仕送りなど（繰出金、貸付金、補助金など）	36,723円	18.3%	
			ローン返済（公債費）	21,181円	10.6%	
			預貯金（積立金）	50円	0.0%	

## 市債残高の推移



### 負担割合の低い市債（臨時財政対策債・合併特例債）へシフト

新規の借入金は、市の負担割合の低い地方債を積極的に活用することで、市の実質的な借金を減らしています。

#### ●臨時財政対策債

地方交付税の代わりに市が発行できる地方債で、借入金の元金と利子は、後年度に100%地方交付税で措置されます。

#### ●合併特例債

合併後15年間発行できる地方債で、借入金の元金と利子は、後年度に70%が地方交付税で措置されます。

## 本市の財政健全度

### 今後も引き続き財政健全化に努めます！

#### 本市の財政健全化4指標の数値

指標	内容	平成28年度決算	早期健全化基準※1	財政再生基準※2
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	<b>赤字なし</b>	11.4%	20.0%以上
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	<b>赤字なし</b>	16.4%	30.0%以上
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	<b>5.1%</b>	25.0%	35.0%以上
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対して将来に負担が見込まれる負債（借金）の割合	<b>将来の負担なし</b>	350.0%	

※1、2…この基準を超えるとは国の定めにより、財政健全化または財政再生に向けた取り組みが必要となる



「3つの宝」をより一層輝かす!

「3つの宝」をより一層輝かす!

新 新規事業 拡 拡充事業  
 ぶ ふるさと納税活用事業

「農林畜産業」の振興

「都城の食品」販路開拓支援事業

新 ぶ 【予算額 1,021万円】  
 アジア最大級の食品輸出展「輸出EXPO」への出展経費などを補助。本市の企業が海外販路を拡大するための機会を支援します。

6次産業化推進事業

新 ぶ 【予算額 7,224万円】

全国和牛能力共進会对策事業

【予算額 245万円】

肉用牛担い手農家支援事業

新 ぶ 【予算額 1,850万円】

農林畜産業後継者対策

◎農業高校と連携した地域人材育成事業

新 ぶ 【予算額 97万円】

◎新規就農者ハウス設置支援事業

新 ぶ 【予算額 300万円】

畜産競争力強化整備事業

新 ぶ 【予算額 12億5,327万円】

養鶏農家生産向上緊急支援事業

新 ぶ 【予算額 1,176万円】

しいたけ等生産振興総合対策事業

新 ぶ 【予算額 150万円】

竹笹サイレージ普及促進事業

新 ぶ 【予算額 338万円】

「地の利」の拡大

都城志布志道路整備関連事業

新 ぶ 【予算額 6,959万円】

基幹道路等の整備

◎街区三股線

【予算額 1億8,945万円】

◎鷹尾上長飯通線

【予算額 1億8,639万円】

◎甲斐元通線（歌舞伎橋）

【予算額 2億5,255万円】

◎鷹尾都原線

【予算額 1億5,000万円】

◎母智丘通線

新 ぶ 【予算額 9,000万円】

都城インター工業団地

桜木地区整備事業

【予算額 7億905万円】

後方支援拠点都市推進事業

新 ぶ 【予算額 279万円】

災害対応力の向上と関係機関との連携強化を図るために、県南部10市町協議会と防災関係機関との実働訓練を実施します。



災害対策本部室整備事業

新 ぶ 【予算額 728万円】

「人間力あふれる子どもたち」の育成

学力向上対策事業

◎ICT化推進事業

新 ぶ 【予算額 4,712万円】

市内全ての小・中学校の教室と理科室に大型テレビと書画カメラを設置。モデル校にはタブレット端末を導入し、主体的・意欲的な授業を支援します。

◎小学校学力向上対策事業

【予算額 4,251万円】

◎小中一貫学力向上研究指定事業

【予算額 169万円】

◎中学校教員業務支援事業

【予算額 126万円】

ALTによる語学指導事業

新 ぶ 【予算額 5,224万円】

中学生海外交流事業

新 ぶ 【予算額 861万円】

小学校図書館サポーター配置事業

新 ぶ 【予算額 1,756万円】

移動図書館車「くれよん号」更新事業

新 ぶ 【予算額 2,244万円】

みやこんじょ

新 ぶ 【予算額 425万円】

ジュニアトップアスリート事業

新 ぶ 【予算額 575万円】

地場産物「ふるさと給食」提供事業

新 ぶ 【予算額 1,500万円】

美術館特別展「平山郁夫展（仮称）」

新 ぶ 【予算額 152万円】

明治維新150年記念事業

新 ぶ 【予算額 555万円】

都城島津伝承館特別展開催事業

新 ぶ 【予算額 555万円】



# 重要施策の推進!と 市民サービスの更なる向上!

子ども・子育て支援や仕事と子育ての両立支援、市民の健康増進、**中心市街地の活性化**、**地域活性化**などの重要施策と併せて、市民サービスの更なる向上に全力で取り組みます。

## 子ども・子育て支援

### 子どもの未来応援事業

◎子どもの生活・学習支援事業

【新 予算額】1,329万円

生活・学習支援コーディネーターを都城市社会福祉協議会に配置。

ひとり親家庭などの子どもに対し、相談や基本的な生活習慣の習得支援、学習支援などを行うことで、生活向上を図ります。

◎新入学児童生徒の

学用品費の前倒し支給

【予算額】1,612万円

◎ふるさと納税を活用した  
児童養護施設等への返礼

### 乳幼児医療費助成事業

【新 予算額】3億7,878万円

### 予防接種費

【新 予算額】3億7,723万円

### 子育て世代活動

### 支援センター（ふれびか）

【新 予算額】4,924万円

### 新保健センター開設記念講演会

【新 予算額】20万円

### 小規模保育所推進事業

【新 予算額】2億8,636万円

## 妊娠・出産包括支援事業

全国トップクラスの周産期医療体制を生かし、妊

娠から出産、子育て期まで切れ目ない支援を実施します。



◎母子保健コーディネーターの配置

【新 予算額】435万円

◎産前産後サポート事業

（宮崎県助産師会委託事業）

【新 予算額】47万円

◎産婦健康診査

【新 予算額】776万円

◎周産期医療シンポジウム開催

【新 予算額】39万円

## 中心市街地の活性化



平成26年度から計画・整備を進めてきた中心市街地中核施設「Mallmall」の公共施設部分が、4月28日(土)にオープン!

各種イベントなどを開催しながら、人材育成支援事業などの補助事業や、再生機運を高める再生プラン事業などにも取り組み、まちなかの活性化を実現します。

### 中核施設開館記念事業

【新 予算額】708万円

### 中心市街地再生プラン事業

【新 予算額】1億3,320万円

### まちなか活性化プラン事業

【新 予算額】5,248万円

### 公民連携のリノベーションまちづくり事業

【予算額】1,778万円

## 仕事と子育ての両立支援

### 放課後児童クラブ推進事業

【新 予算額】5億4,004万円

放課後児童クラブを7カ所追加設置し、市直営と委託を合わせて6カ所を開設。子育て家庭を強力に支援します。



### ファミリーサポートセンター事業

【新 予算額】930万円



# 市民サービスの更なる向上!

## 窓口レイアウト改善事業

【新】【予算額 9,943万円】

市役所本館1階と2階の窓口レイアウトを一新。市民の皆さんに分かりやすく、居心地の良い窓口へ改修します。



## 総合文化ホール 障がい者用駐車場屋根設置事業

【新】【予算額 1,392万円】

## 合葬墓整備事業(上長飯霊地公園)

【新】【予算額 200万円】

墓地利用者の要望に沿い、墓の準備費用が抑えられ清掃などの管理が必要のない“合葬墓”を上長飯霊地公園に整備。

## 住宅用火災警報器設置推進事業

【新】【予算額 1,549万円】

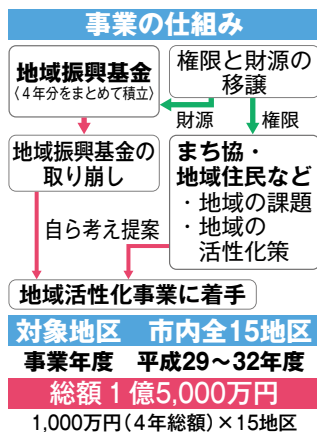
住宅用火災警報器1個に対して、安心クーポン券(500円)を配布。警報器の設置率100%を目指します。

## 地域安全対策事業 (防犯灯設置等補助金)

【新】【予算額 2,436万円】

自治公民館などが管理するLED灯の設置に係る経費の補助を拡充します。

**地域おこし協力隊活用事業** 【新】【予算額 2,033万円】  
新たに2人を増員し、6人の隊員が、施設を活用した地域振興や観光PRなどに取り組み、地域活性化を強力に後押しします。



# 市民の健康増進

## こけないからだづくり講座

【新】【予算額 915万円】

講座の開催箇所数をさらに増やし、高齢者の寝たきりや閉じこもりなどの解消を図ります。



## CKD(慢性腎臓病) 予防連携事業

【新】【予算額 7万円】

人工透析導入の原因であるCKDの予防のために、かかりつけ医と腎臓専門医をつなぐ「CKD予防連携医」を認定。CKDの重症化予防を図ります。

# 移住・定住の推進

## 産学官連携! キャリア教育推進事業

【新】【予算額 ゼロ円】

地元企業で働く人を講師として小・中学校に派遣し、若年層の「地元で働く」意識を醸成します。



## 企業巡見推進事業

【予算額 330万円】

## 移住・定住

## インターシップ等推進事業

【新】【予算額 421万円】

## 移住・U・I・Jターン就職座談会

【予算額 1,295万円】

## 転職応援補助金

【新】【予算額 1,100万円】

## 移住・定住人材確保コーディネート事業

【予算額 189万円】

## 移住・定住推進事業

【予算額 301万円】

## ライフスタイル創生!

## 移住・定住推進事業

【予算額 435万円】

## 採用力UP実務セミナー!

## 中小企業等若手社員合同研修会

【予算額 120万円】

# 地域の活性化

## 地域活性化事業

市内の各地域が主体となって実施する活性化に向けた取り組みを支援します。

## ◎平成30年度に実施する主な事業

- ・横市地区要介護化を予防する事業
- ・いわよし食堂事業(祝吉地区)
- ・地域文化活性化事業(沖水地区)
- ・交通安全活動推進事業(志和池地区)
- ・「安久節」モニユメント設置事業(中郷地区)
- ・夜の昆虫採集カブトムシ相撲大会事業(山之口地区)
- ・「石川理紀之助」交流事業(山田地区)
- ・高崎地区縁結び促進事業



# “肉と焼酎のふるさと・都城”の 対外的PRの更なる推進!

平成27・28年度の寄附件数・寄附金額が日本一となったふるさと納税をはじめ、東京モノレールの車内広告や博多駅デジタルサイネージなど、さまざまな媒体を活用して、より一層、本市の魅力を全国にPRします。

## 肉と焼酎のふるさと・都城の対外的PRの更なる推進!

### ふるさと納税推進事業

【予算額】 34億9,558万円

「肉と焼酎のふるさと・都城」にふさわしい魅力ある特産品を返礼品として寄附者に贈ること、本市のPRと地場産業の振興に努めます。また、都市部での啓発イベントなどを開催し、本市のふるさと納税を広く周知します。



### 「肉と焼酎のふるさと・都城」推進事業

【予算額】 4,003万円

東京モノレール車両でのポスター掲示や、首都圏での看板設置など、さまざまな媒体で「肉と焼酎のふるさと・都城」をPR。今年度は新たに博多駅のデジタルサイネージを活用し、本市の知名度を高める取り組みを進めます。

### ミートツーリズム推進事業

【予算額】 3,156万円

ふるさと納税日本一に輝いた本市が誇る「肉と焼酎」を素材に、観光客が都城を訪れ、本物の「肉と焼酎」に出会う体験「ミートツーリズム」を推進。福岡の消費者を対象としたモニターツアーや、昨年度完成した「グラนด์メニュー」を活用した情報発信など、「肉と焼酎のふるさと・都城」の魅力を外に発信します。



### インバウンド対策事業

【予算額】 770万円

外国人観光客として最も多く本市を訪れている台湾をメインターゲットに、観光関係者などへのトックセールスを実施。来訪者と観光消費のさらなる増加を図ります。

### 合宿誘致推進対策

【予算額】 2,474万円

スポーツキャンプや文化合宿などを積極的に誘致。地域経済の活性化につなげます。



### 観音池公園整備事業

【予算額】 3,220万円

平成32年度までに、観音池公園の桜を倍増。併せて、県内唯一の観覧車の塗装や修繕を行い、観光名所としての同公園の魅力を高めます。





# その他特色ある主な事業

## 地区公民館建設事業

◎庄内地区公民館建設事業

【予算額 4,989万円】

◎沖水地区公民館建設事業

【予算額 2億7,302万円】

◎志和池地区公民館建設事業

【予算額 1億326万円】

◎祝吉地区公民館建設事業

【予算額 3億518万円】

## 山田総合支所複合施設整備事業

【予算額 908万円】

山田総合センターの1階に総合支所機能を集約。利便性の向上を図ります。

大岩田最終処分場埋立有効活用事業  
【予算額 4億8,348万円】

早水公園整備事業  
(サブアリーナ・武道場等)  
【予算額 12億8,703万円】

10月にサブアリーナと武道館の供用を開始。県や全国規模の競技大会の誘致を図ります。



都城運動公園整備事業(野球場)  
【予算額 1億8,602万円】

## 県立陸上競技場を山之口町に整備



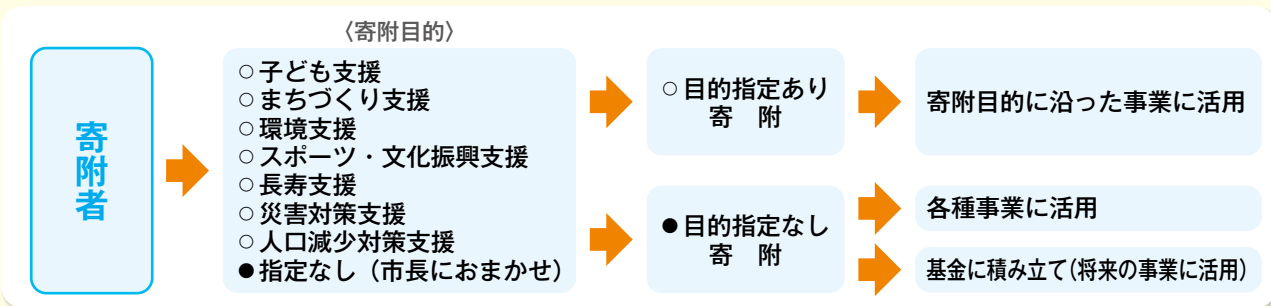
昨年9月、2026年度国民体育大会宮崎大会に向けて、県立陸上競技場を本市に整備することを宮崎県が決定しました。

今年度は、競技場用地となる山之口運動公園周辺の測量調査などを行い、整備に向けての準備を県と一体となって進めます。

山之口運動公園整備事業  
【予算額 3,769万円】

## ふるさと納税を市政運営に活用

平成29年度(平成29年4月~12月)は、全国の皆さんから65億2,533万円の寄附金をいただきました。寄附金は「都城市ふるさと応援基金」に積み立て、寄附者が指定した次の7つのメニューに活用します。



### 当初予算における活用額 52億円

寄附目的	事業数	活用額
子ども支援	61	15.9億円
まちづくり支援	7	2.2億円
環境支援	16	4.5億円
スポーツ・文化振興支援	16	1.5億円

※残りの約13億円は、今後の補正予算で活用を予定しています

寄附目的	事業数	活用額
長寿支援	7	2.6億円
災害対策支援	14	2.3億円
人口減少対策支援	12	3.3億円
指定なし	117	19.7億円